



夢のかけ橋

高知県教育だより ～ 増刊 第2号 ～



平成21年（2009年）

4
(増刊)

<特集> 平成21年度県教育委員会事務局の各所属を紹介します

<教育政策課>

教育政策課では、「総合的な教育政策の企画・立案・調整」及び「教職員の人事制度の構築」の2つを主な業務としています。具体的には「教育振興基本計画」の策定や「学ぶ力を育み心に寄りそう緊急プラン」等の進行管理、教職員の採用や服務、給与、大学院派遣や県外人事交流などを行っています。

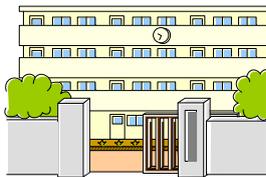
今年は、すべての教育関係者とともに、子どもたちの確かな成長への手応えを感じる1年にしたいと考えています。

教育政策課長 高田 行紀



<総務福利課>

総務福利課では、安全・安心な教育環境を整備するため、学校施設の耐震化など施設環境の改善・充実に取り組むほか、教職員住宅の維持管理や教職員の退職手当の支給・健康管理、また、教育委員会に関する法務、事務局職員の人事・給与・サービス管理など多様な業務を所管し、教育環境の基礎を支える業務を担っています。



総務福利課長
川井 正一

<幼保支援課>

幼保支援課では、保育所・幼稚園が乳幼児期の子どもたちの心の居場所となるよう、保育士・教員の資質・専門性の向上を図るための現場支援等を実施するとともに、保育サービスの充実や子育て・親育ち支援に取り組んでいます。



幼保支援課長
門田 登志和

<小中学校課>

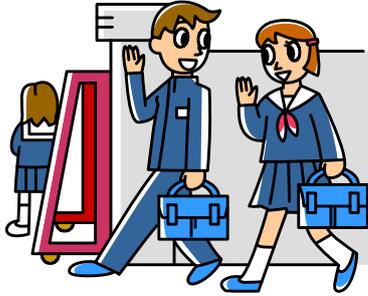
- ・小・中学校新教育課程の実施に向けて、支援を充実します。
- ・中学校における学力向上対策のための取組を高知市と協働して行います。
- ・学校改善プランの活用を促進し、学力向上に徹底して取り組みます。
- ・校種をこえて連携し、中1ギャップを解消するための指針を提案します。
- ・課題解決のための「仕掛け」を工夫する小中学校課は、学校のパートナーです。【県庁西庁舎を飾るつつじ】



小中学校課長 永野 隆史

<高等学校課>

高校生が自分の夢を見つけ、それを叶えるために一步一步進んでいく姿を見ることが私たちの喜びです。そのために、県立高等学校と力を合わせて元気のある学校になるように支援していきます。



高等学校課長 川村 文化美

<特別支援教育課>

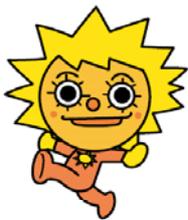
特別支援教育の充実発展のため、熱意を持って全力で取り組みます！



特別支援教育課長 渡邊 豊年

<生涯学習課>

生涯学習課では、家庭や地域の教育力の向上、生涯学習社会の構築を図るために、放課後子どもプランや早ね早おき朝ごはん運動をはじめ、生涯学習フェスティバルの開催や図書館などの環境整備に取り組んでいます。



生涯学習課長
濱田 久美子

<文化財課>

文化財課では、文化財保護法等に基づき文化財を適切に保存し、次の世代へ伝えるとともに公開・活用することにより、県民に身近に地域の歴史を感じてもらえるよう、高知城の管理や埋蔵文化財の発掘調査、指定文化財を保護することなどに取り組んでいます。

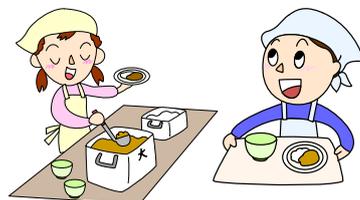


文化財課長
片岡 博彦

<スポーツ健康教育課>

スポーツ健康教育課は、今年も「生涯にわたる豊かな心と健康な体の保持・増進」を経営理念に掲げ、こどもの体力向上や食育・健康教育、学校安全教育の充実また生涯スポーツを推進するとともに競技力の向上を目指し、これらの取組を職員が一丸となって行っています。

今年は、子どもたちの体力向上に向けた「アクションプラン」を作成し、それに基づき、学校体育授業の改善などの取組を展開していきます。また、産業振興計画の食育を推進するため、学校給食への安定供給体制を構築するためのネットワーク会議の開催や地場産物を活用したレシピ、献立の開発などを行います。



スポーツ健康教育課長 刈谷 好孝

<人権教育課>

人権教育課では、一人一人が大切にされる社会や学校づくりのため、相手の立場に立って行動できる豊かな人権感覚をそなえた県民の育成をめざし、人権教育と心の教育を総合的に推進するとともに、予防的な視点に立って、不登校等の改善に取り組みます。



人権教育課長
中澤 牧生

<教育センター>

(仮称)教科研究センターを立ち上げます！

授業研究や教科研究に励む県内の先生方の自主的な活動を支援するため、学習指導案や授業の映像等を蓄積し、閲覧・活用できる場（教科研究センター）や環境（教育情報検索システム）づくりに取り組みます。



県教育センター所長
藪内 末廣

<東部教育事務所>

本年度も学校・家庭・地域が一体となった教育活動が推進されますように、市町村教育委員会と手を携えて「共に学ぼう 子どものために」をキャッチフレーズに、各学校を支援することに、職員一同、全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願いいたします。



東部教育事務所長
吉田 弘章

<中部教育事務所>

中部教育事務所は、学校に一番近い県教育機関として、学校支援訪問を柱に教育課題の解決のため学校を支援していきます。平成21年度を「実行元年」と位置づけ、全所員が「子どもたちに確かな力をつける」という同じ思いをもって取り組んでいきます。



中部教育事務所長
依岡 雅文

<西部教育事務所>

21年度のスタートは「幡多の学校、子ども、先生、そして保護者や地域住民の方々のために全力を注ぐ。」、まさに「幡多は一つ」という思いを、管内6市町村の地教委のみなさんと共有するところから始まりました。

今年度の具体的な取り組みとしては、以下の4点です。

- 予習・復習の習慣の定着（9年間で確実に）
- 基本的な授業スタイルの確立
- 子どもが先生に気軽に相談できる、ゆとりを持った組織づくり
- 学校を支える教育風土の維持



Check and Action を念頭に置き、一つ一つ確実に取り組んで行こうと思います。

西部教育事務所長 久保 良高

<高知県立図書館>

県立図書館は、市町村立図書館への支援や移動図書館の巡回によって、全県的な図書館サービスの発展・普及と子どもの読書活動を推進するとともに、県民の生活に役立つ資料・情報センター機能を果たしていきます。

高知県立図書館長
丸地 真人



<青少年センター>

子ども達の自立とキャリアデザインをサポートします！！

青少年がセンターの活動を通じて仲間と関わっていく力、社会と関わっていく力を養うことで「**生きる力**」を身につけ、青少年の自立をサポートします。

また、スポーツにより青少年の能力を引き出すとともに、スポーツ選手の一層の競技力の向上と健康増進に取り組みます。

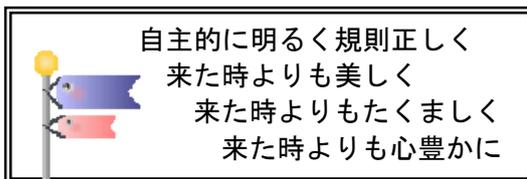


青少年センター所長 砂田孝男

<幡多青少年の家>

幡多青少年の家では、本県の経営理念である「21世紀を心豊かに生き抜いていける子どもたちを育てることのできる教育の確立」を達成するため、当所の経営理念として「仲間とともに、自然体験・野外体験・集団宿泊訓練を通して、規律・集団・友愛・奉仕精神を養い、心身ともに健全な子どもの育成を図る。」を掲げ、事業の2つの柱である受け入れ事業及び主催事業に取り組んでいます。

また、



を研修生の生活信条として研修に努めています。

幡多青少年の家所長 乾 健児



<心の教育センター>

こんにちは 心の教育センターです。

当教育センターでは、人権教育を基盤とした“心の教育”を総合的に推進しています。

- ① 教職員研修の充実
- ② 教育相談体制の充実
(来所・電話・Eメール・出張相談)
- ③ 関係機関との連携強化
- ④ 調査・研究・資料提供

以上の取組を通して、不登校やいじめ等本県の生徒指導上の諸問題や人権課題の解決を図っていきます。



～子どもたちの希望あふれる 笑顔のために～ 心の教育センター所長 横田 隆

編集後記

「夢のかけ橋」増刊第2号をお届けします。今回は、県教育委員会事務局の所属をご紹介しました。各所属とも新たなメンバーを加え新鮮な気持ちでスタートします。今年度もよろしくお願いいたします。

本広報紙への感想や、ご要望がございましたら、発行者までお寄せください。

教育委員会ホームページ：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

<発行者>

高知県教育委員会事務局
教育政策課

(TEL) 088-821-4731

(FAX) 088-821-4558

(E-mail) 310101@ken.pref.kochi.lg.

